

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

[修士課程]

人間生活学研究科食物栄養学専攻修士課程では、次のような学生を求める。また、入学後の学修の基盤として、次の知識や能力が求められる。

求める学生像

1. 「食と栄養と健康」の領域についての学識を深める意欲のある人
2. 研究意欲が高く、新規性・独創性の高い修士論文を作成する意欲を持つ人
3. 研究分野（栄養科学・食科学・健康科学）における諸課題を多角的・科学的な視点をもって総合的に解決する意欲のある人
4. 食品開発、食品の機能性・安全性評価、食品の品質管理等の分野で研究開発力を発揮することを目指す人
5. 職域・地域の健康づくり等において指導的役割を果たすことを目指す人

入学前に身につけていることを望む能力

1. 「食と栄養と健康」の分野について栄養士相当の素養・学識を有している。
2. 研究能力の基礎となる学識を修得している。
3. 英文の学術論文を読む力を修得している。

[博士後期課程]

人間生活学研究科食物栄養学専攻博士後期課程では、次のような学生を求める。また、入学後の学修の基盤として、次の知識や能力が求められる。

求める学生像

1. 「食と栄養と健康」領域の研究を深める意欲のある人
2. 研究意欲が高い人
3. 新規性・独創性にあふれ社会的意義の高い博士論文を作成する意欲を持つ人
4. 「食と栄養と健康」の分野について、科学的、かつ総合的に判断できる人
5. 「食と栄養と健康」の分野における新たな科学的知見を創出する意欲のある人
6. 「食と栄養と健康」の分野における新たな科学的知見を情報発信する意欲のある人
7. 広い視野を持ち、産学官における共同研究や地域連携型共同研究を行う意欲のある人
8. 自立的な研究を目指す人
9. 自ら研究に必要な公的資金の獲得を目指す人

入学前に身につけていることを望む能力

1. 「食と栄養と健康」の分野の高度で幅広い学識を基礎に、特定の分野について優れた研究実績を有している。
2. 自立的な研究能力の基礎となる学識を修得している。
3. 英文の学術論文を読む力や英語での講演を理解する力、英語での情報発信をする能力を修得している。